

夏の感染症にご注意を！

夏には、咽頭結膜熱(プール熱)、ヘルパンギーナ、手足口病等が多く発生します。症状がある時は、早期に医療機関を受診して下さい。

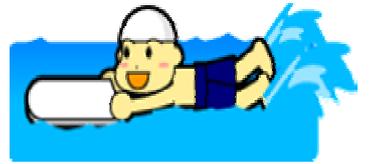
咽頭結膜熱(プール熱)

どんな病気？

- ・ アデノウイルスの感染により、発熱(38～39度)、のどの痛み、結膜炎といった症状等を3～5日間程度続き、小児に多い病気です。
- ・ プールを介して流行することもあるので、「プール熱」とよばれることもあります。

予防方法は？

- ・ 流水とせっけんによる手洗い、うがいをしましょう。
- ・ プールの前後はシャワーをよく浴びましょう。
- ・ 他の人とのハンカチ・タオルの貸し借りはやめましょう。



ヘルパンギーナ

どんな病気？

- ・ コクサッキーウイルスなどにより、突然の高熱(38～40度)、のどが痛む(水疱)病気で熱は1～3日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛などを起こします。
- ・ 乳幼児がかかりやすい、夏かぜの代表的な病気の一つです。

予防方法は？

- ・ 特別な予防方法ありませんが、おむつの交換など便扱った後は、手洗いをきちんとしましょう。



手足口病

どんな病気？

- ・ エンテロウイルスの感染により、口の粘膜および手足に水ぼうそうのような発しんが現れる乳幼児の病気です。
- ・ 発症者の約1/3に発熱が見られますが、軽度です。
- ・ せきをしたときのしぶきや、便などから感染します。

予防方法は？

- ・ 流水とせっけんによる手洗い、うがいをしましょう。



夏の感染症を防ぐための日常の注意点

- ・ 外から帰ったらせっけんによる手洗い、うがいをしましょう。
- ・ 食材は冷蔵庫で保管、加熱は十分に、早めに食べましょう。
- ・ バランスの取れた食事と十分な睡眠を心がけましょう。

感染症に関する一般的なお問い合わせ・相談は、お住まいの地域の健康福祉事務所(保健所)にご相談ください。